

## 令和6年度 学校運営協議会（第1回）議事録

- 1 日 時 令和6年6月25日（火） 14:15～15:20
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参 加 者 協議会委員：地域住民、学識経験者等6名  
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、保健主事

### 4 内 容

#### (1) 委員長挨拶

・以前から美原高校は生活指導面もきちんとしており、美原中学校の生徒も多くお世話になってきた。学校の教育・経営計画もお伺いし、有意義な時間になりたい。

#### (2) 校長挨拶

- ・生徒数の減少に伴い教員数も10人減となった。
- ・先月末に体育大会も例年通り実施され生徒は盛り上がり良いものになった。天候も少しあやしかったが実施できた。
- ・授業や進路のことにも前向きな取り組みを行っており、学校の取り組み内容については後程説明する。またご意見等お伺いしたい。

#### (3) 議 事

##### ◆ 令和5年度学校経営計画について

- ・体育大会や文化祭などへのモチベーションが下がることを危惧していたが、今のところ良い形で生徒たちも一生懸命取り組んでいる。
- ・アンケートでの授業評価の数値が高いわりに基礎学力が追いついていないことが見受けられる。これについては昨年議論を行い、進路にも影響するところがあると結果から見ても実感した。そのようなことから今年度は授業の開始前10分間の朝学習を通して、基礎学力を充実させる取り組みをしている。
- ・生徒の満足度と保護者の満足度がかけ離れているというところに関して、できるだけホームページ等を利用して情報発信をすることなどに取り組んでいる。  
またできる限り保護者の方に学校に来ていただくことを目的として今年度初めて5月11日土曜日に午前中授業の後、午後から全学年（2・3年）保護者を対象に進路説明会を実施した。
- ・平均遅刻回数2.3回となっている。前回は1.7回ということでお知らせしていたが、冬場になって登校ままならないという生徒が出てきてしまった。ここ数年は平均遅刻回数が2回を上回ることはなかったがコロナの影響や、生徒自身がなかなか学校の方に足が向かないということが理由と考えられる。学校としては、まずは遅れてでも学校に来る、そして生活習慣を少しずつ身につけてもらうという形で生活指導では取り組んでいる。
- ・自転車交通事故件数が、前回は11件（12月時点）ということでお知らせしていたが、今回（年度末結果）は14件ということで増加している。

- ・先生方の時間外の労働月平均時間が前回 23.8 時間とお知らせしていたが、その後も様々な努力をいただいて 21.1 時間が最終結果になっている。府下全域で言うと比較的少ない。

□ 協議委員からの意見

- ・自転車の事故件数が 11 件から 14 件に増えているとこの原因は把握されているか。  
→2 学期末で 11 件だった。その後冬場になり 3 件増え 14 件になった。去年は 18 件だったので減ってはいる。

- ・生活指導の肯定度というところが 96.9%で、指導された方も、指導されていない方も全部含めてという数字では素晴らしい。指導された後自分を導いてくれたなということで、納得しているということでもあるし、自分たちのことも守ってくれる過ごしやすい学校だなというところでみんなが認めている。

指導をされている上に、先生方の時間外の時数も減らしていかれている。見習わないといけないなと思う。良い経験をされていると感じた。

→1 年間を通して様々な問題は起こるが手厚く対応することで被害者の保護者から感謝される場面もあった。

◆ 令和 6 年度学校経営計画について

- ・キャリア教育の充実と希望進路の実現において、朝学習についての内容を追加。昨年度就職の一次内定率が例年より少し落ちた。やはり、基本的な学力がなかなか身につけていないというところが大きな原因であるという一定の結論が出てきたので、今年度朝学習という形で基礎学力の充実をめざし毎朝 10 分ずつの学習を行っている。

- ・安全安心で魅力ある学校づくりの項目で、生徒が安心して安全に生活できる環境づくりのために保護者への積極的な情報提供発信に取り組むとともに、個人情報の適正管理を徹底すると個人情報の適正管理に関してきちんとやるということを明記している。

- ・情報発信についてはできるだけいろんな情報は外部に発信していこうということで今年は取り組んでいる。また、大きな地震が発生したことでもしもの事態が起こった時に生徒の身の安全を守ることと保護者への情報発信の方法についても考えている。方法についてはホームページやマチコミメールを活用している。保護者の方にも常時見ていただく習慣を持っていただきたいと思います。

- ・地域に貢献できる人材育成というところでは、昨年までは体育コースがあり、学校の一つの売りであった。その体育コースの取り組みを通じて地域で活躍できる人材育成に取り組んできたが残念ながら、現 2 年生、3 年生ともに、体育コースの希望生徒が開設の最低限の条件確保できず閉講という形になった。それに伴い、昨年度末に体育コースを解消した。

現 2 年生については少しずつでも地域にいろんなことを還元できるような形の人材育成ということで、今年と来年、「総合的な探究活動」で地域の課題解決について少しずつ取り組みを行いたいと考えている。

- ・分かる授業、魅力ある授業をめざした授業改善の具体的な取組計画内容を変更しており、授業改善 PT を今年度、新たに導入している。今年の 1 月に授業改善 PT を立ち上げ、生徒に卒業までにつけたい力を明確にして、その上で授業を通して社会に出ても通用する力を生徒につけていこうと取り組んでいる。

様々な議論を通して自己分析する力、コミュニケーション力、課題発見解決能力、の 3 つが決定している。大阪府の教育センターのパッケージ研修に応募し、それも併せて支援をいただいている。卒業までにつけたい力についてのアンケートを生徒に行い 12 月にもう一度同じアンケートをして

どれだけ伸びたかという分析調査にも取り組む予定。

- ・個人情報 の 適正管理 と 総合的な探究の時間 に関して 追記。

#### □ 協議委員からの意見

- ・運動部の人数減に伴い、公式戦に出場できなくなるケースをどこまで把握し、対策をしているのか。  
→運動部に関しては、本校だけでなく学校単独ではなかなか成立しないというところがある。  
他校と共同でチームを作って公式戦に出るなどしている。野球部は先日まで2、3人だったが部員を集めこの夏試合に出る。

### ◆ 令和6年度 学校教育計画

#### ◇全体資料について

- ・全体人数が減ったことから校内組織に変更があり、今までPTA業務を教務の先生が担っていたが進路に移っている。
- ・現在19名で様々な業務を担っている。

#### ◇学習活動について

- ・今年度から基礎学力の向上をめざして8時35分～10分間の朝学習を始めた。昨年度の進路の1次選考の結果が良くなかったことから。教材はベネッセのマナトレを使用している。
- ・学習指導の改善と連携、退学の防止というところはホームルーム担任と教科担当の連携を密にするために、現在週1回、学年会議で情報共有を行っている。保護者懇談の前などには授業担当者が入力フォームを用いて担任へ生徒情報を入力し懇談に活用していた。
- ・少人数授業は引き続き実施。生徒からはアンケートの結果からも好評を得ている。
- ・授業改善プロジェクトチームではこれから3人の先生に研究授業をしていただく予定。教員全体で考えていく。

#### ◇部活動について

- ・部員が激減しており、特に運動部で活動しているクラブはごくわずかとなった。文化部は文化祭までは部員は残る見通し。何とか部員1人でも部活動を継続させたいと思っている。

#### ◇生活指導について

- ・5月に教員研修を実施。校則について議論をした。規則に関しては髪型に関する規定を緩和している。
- ・遅刻は生徒数の減少に伴い、件数自体も減っているものの1人当たりの件数が増えている。一方で来ている生徒に関しては朝学の影響もあって登校時間が早まっている。
- ・無断早退や中抜けはなくなった。授業中の居眠りや提出物の未提出の常態化にならないよう教科を中心に徹底して指導していく。
- ・身だしなみについて、制服の着崩しについては減少したがスカートの巻き込みやシャツ出しなどはたまに見られる。化粧については明らかなものは少ないがファンデーション指導や色付きリップの指導はゼロにはならない。
- ・携帯電話などの通信機器に関してはSNSトラブルが増加している。情報リテラシーの教育も必要になってきている。
- ・交通安全教育は年2回実施している。交通事故の報告件数は減少したもののこれは全体の人数の減少が影響している。事故にあってもパニックになってそのまま登校してしまうケースもある。そういったことがないように注意していきたい。
- ・生徒の人数は減少したものの懲戒件数はあまり減少していない。SNSや人間関係トラブルが引き

金となるケースが多い。

#### ◇進路指導について

- ・2023年の報告から専門学校への進学が減少しており、4年生大学への進学者は昨年度に続いてわずかに増加している。昨年度は一般の後期入試まで受験を続けている生徒もいた。大学共通テストの受験者はいなかった。短期大学進学者数は昨年度に引き続き受験者が減少している状況。
- ・学校紹介就職の1次内定率が83%で今までより低下している。2022年から比較するとかなり低い数値となっている。しかし最終の合格率は100%。就職の職種は生産工程がかなり多い。
- ・進路の説明会は多数実施しており、2年生から奨学金の説明会も実施している。

#### ◆令和6年度 授業アンケートについて

- ・第1回目を7月9日火曜日、第2回目を12月13日金曜日に予定している。今年度からGoogleフォームを用いChrome bookで答える形になる。

#### □ 協議委員からの意見

- ・頭髪指導のことなどどのようにオープンにしているのかなど気になっていたがとても納得のいく表現であると感じ、また子どもたちにどのように伝えれば納得できるかなど工夫がされており愛情を感じる生徒指導の規定だと感じた。学習指導も生徒たちの進路にまでつなげられたらと思う。最後結果が出ればよいと思う。
- ・あと2年で閉校ということで、進級できない場合などはどうするのか。国際交流がまだ継続しているのか。  
⇒極力進級できるようにフォローしている。学校に来れないなどの理由でどうしようもない場合に最終的には統合校である大塚に行くことになるが、本人の希望を聞きながら本人が府立高校で卒業できるような良い形を探っていく。国際交流の留学などの交流についてはコロナの影響やオイルサーチャージの高騰などで厳しくなっているが国際交流の行事は現在も行っている。アフリカンバンドの公演やJICAの方の講演など。
- ・授業見学の中で寝ている生徒が少ないと感じた。生徒も一生懸命に授業を受けているし、先生も様々な工夫をしながら授業をしているのではないかと感じた。今後先生の数も減っていくと思うが様々な事情を抱えた生徒がいると思うので今後も変わりなく生徒に寄り添い、1人ずつのフォローをしていただきたい。
- ・先生の数が少なくなっている中生徒に対してどうしたら子どもたちに寄り添っていけるか、ということをしごく考えていただいているなというのを感じた。授業見学させていただいて、真面目に取り組んでいるところが見られてよかった。
- ・生徒のことを考えていて、この学校運営協議会がしごく愛のある会だと感じた。また少しでも力になりたい。

#### (4) 閉会の挨拶 (校長)

- ・残り2年ということで私たちも気を引き締めながら、そして先生方の数も減っていく中で、どう効率的に先生方にも負担をかけずになおかつ生徒に少しでもいい取り組みを提供していけるか。そして生徒には笑顔で卒業してもらおうということが一番大きな課題かと思う。またこの後、第2回、第3回もあるので、その節は様々なアドバイス、叱咤、激励等をいただければ非常にありがたいと思う。また今後ともぜひよろしくお願ひいたします。